

理事長声明

## イスラエルとパレスチナにおける武力行為の即時停止と人道支援実施を 日本政府に求めます

イスラエルとパレスチナ・ガザ地区において双方による武力行為により、民間人に甚大な被害が発生しています。これまでの爆撃等により、多大な被害が発生しており、水食糧などの支援物資や燃料は不足し、深刻な事態が生じています。

現在発生している凄惨な事態を止め、これ以上の子どもをはじめとした民間人への被害を発生させないためには、直ちに双方が停戦を実現することが必要です。国際人道法では、民間人を巻き込む無差別攻撃は禁止されており、医療・学校施設への攻撃を禁止し、人質を認めていません。このところの軍事衝突によって多数の民間人犠牲者が発生しており、許されるものではありません。国連3機関（WHO,国連人口基金、ユニセフ）は、ガザ地区の病院に対する攻撃の停止に向けた「緊急行動」を国際社会に要求する声明を出しました。

北医療生協も加盟する医療福祉生協連は、人権の尊重と社会保障の充実をめざし、いのちと健康を脅かす戦争に反対する組織として、以下のとおり日本政府に要請しました。

- ・ あらゆる外交手段を通じ、当事国、関係各国、国連等が調停に乗り出すよう働きかけを強め、一刻も早い武力行為の即時停止に向けた外交努力を求めます。
- ・ 被災者の救援、人道支援がすすむように、イスラエル・パレスチナ側双方に働きかける外交努力を求めます。

北医療生協においても「協同の力で いのち輝く 地域を作る。社会を築く。未来を拓く。『いのち輝く』とは 健康に笑顔で生きること 一人ひとりが尊重されること 平和が大切にされること すべての人々のいのちが輝くことをめざします。」の理念に基づき、声をあげ、平和の実現を求めるとりくみをさらにすすめていきましょう。

2023年11月16日

北医療生活協同組合

理事長 森 英一